

第1回 長野県 ICT 学び推進委員会 議事録

R2. 5. 8
学びの改革支援課

1 日 時

令和2年5月8日(金)13:30～15:00

2 実施方法

Web 会議による

3 参加者

【信州大学】東原特任教授、村松教授
【長野市三本柳小学校】宮澤校長 【喬木村立喬木中学校】川手校長
【栄村立栄小学校】宇佐美教諭、 【佐久市立中込中学校】瀬下教諭
【諏訪清陵附属中学校】五味教諭 【学びの改革支援課】小池義務教育指導係長
【北信教育事務所】渋谷主任指導主事 【東信教育事務所】川下指導主事
【中信教育事務所】山浦指導主事 【南信教育事務所】中嶋指導主事
【総合教育センター】安松専門主事
【県教委】内川指導主事、今川主事、丸山主任指導主事、松坂指導主事、降旗

4 内 容

(1) GIGA スクールに関する最新説明（東原先生から）

- ・ GIGA スクール日々状況変化中。文部科学省のサイトの更新情報を逐一チェックすることが必要。
- ・ 各市町村に対して情報伝達が十分でない可能性があるので、今回を機に情報伝達ネットワークの重要性を認識してほしい
実際に校内 LAN の予算申請をしていない自治体が一人一台のタブレット端末を購入しようとする動きを確認している
- ・ 5月11日に文部科学省から Youtube を利用した整備に関する Q&A などが発表されるはずなので確認するべき
- ・ GIGA スクール関連の重要事項は以下の3点だと考える
 - ①市町村の遂行状況のデータ把握とそれに基づく対処をとる
 - ②全県的な ID の発行
→奈良県で先行事例がある。Office365、G-suite、iOS のどれを採用するかは市町村教育委員会に任せるとして@よりも前を統一するなどを検討してみてはいかがか。
 - ③アドバイザー事業の活用
国からアドバイザー事業が発表される。活用するべきだと考える。

●文部科学省からの伝言

- ・市町村から補助金に関する申請書類が提出されているが、ネットワーク工事に関して単価や費用が妥当かを確認したほうが良いと思われる事案が大量にあるので、本当に必要な部分を精査するように検討すべき。
- ・端末の共同調達については、全国的には奈良県・長野県と聞いており、文部科学省は非常に期待しているので頑張ってもらいたい
- ・校内 LAN 整備
内容に問題がありそうだ。仕様書や見積もり書を見ると学校規模が違っても見積金額が同じになっている
本当に必要なものが減らされている可能性があるので注意すること

(2) 質疑応答

【瀬下】校内 LAN の整備はどこまでのものを整備すれば良いのか？

【東原】文部科学省の HP に GIGA スクールの標準仕様が掲載されている。それを確認する。標準仕様書を各学校の状況に合わせてカスタマイズする。

【森】上田市立南小学校で教諭をしているが、今回のコロナ等により G-suite、Office365 のアカウントが必要となってきたが、上田市は Google のアカウントを取得してはいけない決まりがある。

そのため Office365 のアカウントを取得したが、市の NW から外部に出ることができなかった。

このような場合はどうすればよいか。

【東原】アドバイザー事業を活用し、緊急時のアドバイスをいただくなどすると行政側を動かせる可能性がある。

また、県からアドバイザー事業の内容を通知するべきだと思う。

文部科学省ではクラウド利用が可能となるようにセキュリティポリシーを変更した。また、県立高校や県立中学校、信州大学附属小中学校もアカウントを与えていることから、参考にしてほしい。

(3) 機器の共同調達

【降旗】別添資料のとおり現状を説明

【東原】業者によっては県でまとめたところを優先するという情報もある

飯田市は資料上 Windows となっているが、Chrome に代わり 7000 台規模の調達になるはずであるが、調達スピードが重要ととらえており、調達時期によっては独自調達になる可能性もある。

【五味】諏訪清陵附属中学校で ChromeBook が導入されており、学習形態を模索している。将来的（5年後以降）に端末が使えなくなった場合は代替え手段等あるのか？

【東原】一部の有識者からは、小中高において BYOD 化を目指すべきとの意見がある。しかしながら ICT 機器が一般的に重要である認識がされていないとの意見があったことから、今回は一人一台の端末を配ることにした。今後は、ICT 機器の重要性やデジタル教科書も増えていくであろうが、一人一台端末以降の環境においては各市町村で検討し、家庭負担とするのか地域負担とするのか判断する必要がある。

【宮澤】機器の管理と授業の支援の両輪がないと導入してもうまくいかないと考えている。

【川手】喬木村はすでに導入しており、ChromeBook に変えたい思いもある。

導入後の保守管理はどうするのか？

地元の業者に委託できるのか？

また、家庭学習を行いたいが、保護者の理解が必要になると考えている。

【降旗】共同調達に限って言えば、最低限のメンテナンス等については仕様書で示されると考えている。

【東原】国の令和 2 年度予算に GIGA スクールサポーターがある

支援という面では、市町村が ICT 支援員とは別にサポーターを雇うことが可能であるので活用してほしい

(4) 研修等について

【松坂】利活用を含めた職員研修を取りまとめている。各事務所で整理中。一人一台環境を迎えるにあたり、どのようにしていけば良いのか？ 支援や有効な研修があれば教えてほしい

【村松】GIGA スクールの前段を教職員に伝えることが必要ではないかと感じた。GIGA スクールの前段→導入後の利活用 のように手順を踏むことが必要ではないか。

【東原】GIGA スクールが浸透していない気がする

【宮澤】長野市の校長会では情報共有を行っている。長野市は情報主任会があるので広まっている可能性もある。現場の先生方にどのように広めていくのかは課題かもしれない

(5) 次回に向けて

- ・高校での取り組み（ドメイン等の取得）具体化等々について
- ・研修デザイン（どのような研修を行うか）
- ・情報共有の仕組み（ML などの作成）

■他県の情報

●広島県

- ・全県統一の ID について

県立高校においては、ID (G-suite) を配布しているとの情報あり。恐らくドメインが共通であるためと考えられる。

市町村教育委員会においては、県のやり方に準じて、ドメイン取得、ID 取得を実施する旨の通達を出しているとのこと。

●奈良県

- ★一人一台端末の共同調達について

- ・全部の自治体が参加することで調整している。
- ・協議会で機種や OS 等を協議していく (これから)
→過去に校務支援システムで共同調達を行っているため、同じスキームを利用して実施した。
- ・各自治体と業者で個別契約なので、奈良県教育研究所が業者の選定や価格まで決定することになる。

- ★全県統一の ID について

- ・奈良県で利用していたドメインを、市町村向けに開放した。
- ・利用している ID は Google の ID を利用している。
- ・最初はスモールスタートだったが、徐々に追加されてきた。